

# 喉の検査ってどうするの？



子どもが、「のどが痛い」という時、その大部分はウイルスや細菌に感染して“のど”に炎症を起こしている状態です。

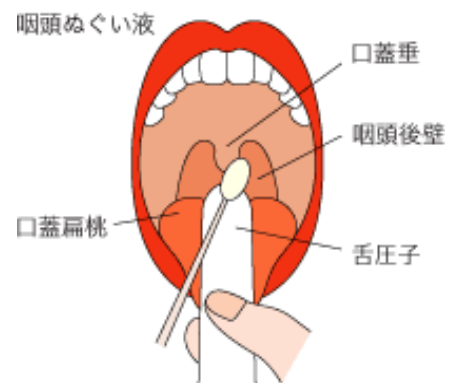
のどの検査には、①溶連菌検査 ②アデノウイルス検査の2種類があります。

「年齢・熱の程度・のどの発赤の具合・体や手足の発疹」の程度から溶連菌やアデノウイルスに感染している疑いがあれば、確認のために検査を行います。

両検査とも細長い綿棒で、のどの奥の粘膜をぬぐいとります。

## 〈ご家族へのお願い〉

小さいお子様は、動いてしまうと危ないので膝の上に抱っこして両手が出ないようにして抱きしめて下さい。



※ 10分程度で結果がわかります。

結果がわかるまで、待合室でお待ちください。※



アデノウイルス検査キット



溶連菌検査キット

ようれんきんかんせんしょう

## 溶連菌感染症とは？

溶連菌という細菌が感染するとのどの痛み・熱・体や手足にあわ粒大のあらい発疹などが出ます。舌の表面は、イチゴの様になります。咳やくしゃみによってうつり、潜伏期間は2～3日です。



治療：抗菌剤を7～10日間飲みます。

（1日か2日で熱が下がりのどの痛みも消えます）

でも途中で薬をやめてしまうと再発します。また、薬をきちんと飲まないとしんじょう熱や腎炎、アレルギー性紫斑病をおこすことがあります。

いんとうけつまくねつ

## 咽頭結膜熱とは？

アデノウイルスの感染が原因で発症するウイルス感染症です。症状は発熱（38℃以上）が4～5日続き、のどの強い痛み・目の充血・目ヤニなどです。さらに、吐き気・腹痛・下痢を伴うこともあります。

夏にプールの水を介して学童の間で流行することから「プール熱」とも呼ばれますが、プールに入らなくてもうつります

（夏以外にもみられます。）

唾液などの飛沫や目ヤニ・鼻水などの分泌物でうつり、潜伏期間は5～7日です。



治療：対症療法として熱やのどの痛みをおさえる薬や目ヤニがひどいときは目薬を処方します。